

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	林野庁・東北森林管理局・三陸北部森林管理署	連絡先	0193 - 62 - 6448
所管する業務の概要	国有林の管理経営、治山・林道事業の実施、民有林の造林の指導等		

1. 基本的な心構え・行動	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
(国民の意見、要請、苦情に対する姿勢) 国民から質問があった際は、内容を的確に把握し、専門的な回答になりがちな質問については、なるべく分かりやすい言葉を使用することを心掛けるとともに、説明した後は、理解や納得を得られたか確認し、当署に聞いて良かったと満足を得られるよう努力をしている。	意見については、ともに共感しながらも、当署としての姿勢を示して、理解を得ることも必要なため、今後とも理解を得られるよう努力するとともに、誠実さを印象づけるような対応を行う。
(業務における心構え) 接遇マニュアルを参考に、電話対応や来客者への対応において、迅速さや誠実さを印象づけるよう取り組んでいる。また、苦情等で対応する者に対しても、できるだけ不快な印象を与えないように配慮しながら、どのような相手に対しても同じ応接態度を心がけている。	接遇が具体的なマニュアルとなり、以前よりも積極的に対応出来るようになったが、臨機応変な対応も求められることから、今後もマニュアルを基本に、迅速且つ誠実な印象を受けるような対応を行う。
担当する業務の責任として、森林管理署と外部との調整や情報連絡について、時機を逸しない対応を心掛けるとともに、スケジュールの報告により常に所在を明らかにしておくことで、緊急な事案についても対応できるように工夫している。	関係する事業体等については、常に持ち歩くケータイ等の番号を周知しておき、着信を細やかにチェックする必要がある。

2. 政策・事業等の企画立案・推進	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
<p>(関係部署との連携強化のための取組)</p> <p>業務遂行において、法令違反がないか「業務点検委員会」等により、複数の目で確認し進めている。</p>	<p>法令遵守は基本だが、社会通念に反したものがないかということも重要であるため、法令違反が有る無しの形式的な点検とならないように、担当者と認識を共有する場を設ける。</p>
<p>情報交換については、週一度の幹部等の打合せの他に、関係する担当係と情報交換し意思疎通を図りながら、担当課及び係間で各種法令手続きや入札事務に関して指導、助言を行い、事業実行がスムーズになるように努めている。</p>	<p>業務が忙しくなると情報交換が不足することがあるが、もう一度打合せの場を作るなど、問題をうやむや及び他課任せにならないよう注意する。</p> <p>企画立案には、それらに関連した知識等が必要であることから、各人のスキルアップを図る。</p>
<p>(政策のニーズ等の把握に向けた取組)</p> <p>林道工事及び治山工事の設計については、常に低コスト及び環境配慮型の工法の採用等に取り組んでいる。</p>	<p>工種、工法は日々進化しており、常に情報収集に努め、より低コスト・環境にマッチした工法に取り組む。</p>
<p>(国民等への政策等の説明方法)</p> <p>職員の周知については、上部から来る指示文書をそのまま流して周知を図るのではなく、シンプルに分かりやすく説明した文書を作成し、時機を逸しないように、場合によっては職員を集め、文書と口頭で周知を図っている。</p> <p>業者等への説明については、担当が複数関連する事案の場合、単独で説明を行うのではなく、関連する課長及び係長も同じ説明の場に入り、法律や専門的な部分をお互いにカバーしあえる体制に努めている。</p>	<p>新たな制度や要領について、改正された点について分かりやすく説明するようにしているが、口頭による回答や説明だけではなく、書面により根拠法令や通知文書まで詳細に分かりやすく伝える。</p>

3. リスク管理	
<p>・ 現在行っている取組や工夫</p> <p>(リスク管理の手順・ルール)</p> <p>ハウレンソウの確実な実行と、ヒヤリハット事例を職員間で共有しながら、自らの業務に置き換えることを心掛けるとともに、前回の失敗した点をメモし、次回に取り組むときの参考に行っている。</p>	<p>・ 点検によって得られた課題とその改善策</p> <p>口頭による報告の場合、誤解が生じる恐れがあることから、状況によっては図面等も示しながら意思疎通を図る。</p>
<p>(過去の失敗や教訓の活用)</p> <p>失敗から得た経験については、自分のものにする事に止まらず、職員間で経験を共有し糧としている</p>	<p>失敗が初歩的なものだったり、ミスの内容が単純であっても周知することを躊躇しないこと。直接関係が無い事項であっても耳に入れることにより、注意力向上の効果があるので、積極的に職員間で情報の共有を図ること。</p> <p>時勢に応じたチェック内容を吟味するとともに、担当者が人事異動で交代しても、円滑な引き継ぎが行われるよう書類整理、データ管理等を行う。</p>

4. 食の安全に関する取組

・現在行っている取組や工夫

事業実行箇所において、沢水の汚濁の軽減、騒音の軽減等、環境保全対策を常に念頭に置き工事監督に努め、異常があれば関係者、関係機関に情報・連携している。
(山からの水資源は一次産業、特に農業・水産業の食に与える影響が大きい)

・点検によって得られた課題とその改善策

国有林野を管理運営する業務が主であり、「食の安全」にともすると無関係に思われがちであるが、山から流れ出る水はライフラインに不可欠であり、第1次産業等を支えていることを認識し、業務の遂行及び情報を的確に発信する。

5. その他の重要な取組	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
<p>組織運営を円滑にするため、課長・係長等の垣根を超えた意見交換や、業務を誠実に取組み情報を共有することで、周りのモチベーションを向上する雰囲気を醸造する努力をしている。</p>	<p>業務を進めていく中で、快く協力を得られた場合や同僚に対して評価すべき内容を発見したら、なるべく声や態度に出して感謝や評価が相手に伝わるように努力すること。</p>
<p>市民等を対象に地域貢献活動及び森林・林業への理解を深めてもらうため、「森林・林業実践講座」を開講している。</p>	<p>女性の参加者が少ないので、女性のニーズを探り、プログラムを工夫する。</p>
<p>各種事業現場におけるゴミの有無の点検を実行している。</p>	<p>工事現場（請負全て含む）では、請負者の責において整理整頓、廃棄物の適正な処理を行っているが、それ以外のものについては気がつかない場合が多いため、周回のゴミ拾い等も指示し、実行されているか確認する。</p>